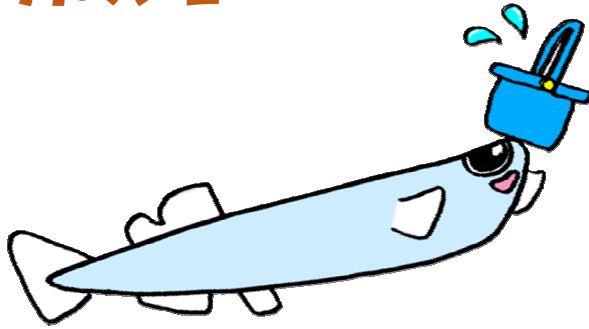
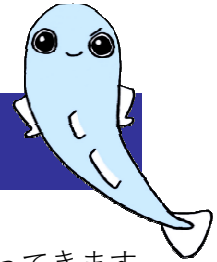


メダカのジョー



久しぶりの登場となりました、ジョーです。
水道水の日持ちに関する実験をしてみましたので結果をお知らせしますね。

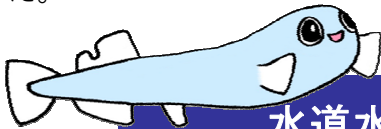
くみ置きした水はどのくらいの期間もつの？



水道水の保存できる期間は、保存方法や残留塩素の初期値によって大きく違ってきます。

夏場に2リットルのペットボトルに水道水を入れて、満水にしたペットボトルと空気の入ったペットボトルを室内と冷蔵庫のそれぞれに保存し、残留塩素濃度が0.1mg/L（水道法の最低基準）になるまで実験してみました。

実験の結果、室内倉庫では概ね1週間もち、冷蔵庫では概ね1か月間もつという結果になりました。



水道水の保存期間についての検証結果

令和4年8月1日から始めた水道水の測定結果を見てみましょう。室内倉庫では1週間程度、冷蔵庫では1か月程度は消毒用の塩素効果が持続していることがわかります。

	室内				冷蔵庫				
	空気なし		空気あり		空気なし		空気あり		
	残留塩素	一般細菌	残留塩素	一般細菌	残留塩素	一般細菌	残留塩素	一般細菌	
R4.8.1	0日	0.59mg/L	/	0.59mg/L	/	0.59mg/L	/	0.59mg/L	/
R4.8.2	1日後	0.51mg/L	/	0.48mg/L	/	0.54mg/L	/	0.54mg/L	/
R4.8.3	2日後	0.48mg/L	/	0.46mg/L	/	0.53mg/L	/	0.53mg/L	/
R4.8.4	3日後	0.43mg/L	/	0.43mg/L	/	0.52mg/L	/	0.52mg/L	/
R4.8.5	4日後	0.39mg/L	/	0.39mg/L	/	0.53mg/L	/	0.50mg/L	/
R4.8.8	1週間後	0.29mg/L	/	0.27mg/L	/	0.51mg/L	/	0.49mg/L	/
R4.8.15	2週間後	0.11mg/L	/	0.10mg/L	/	0.46mg/L	/	0.46mg/L	/
R4.8.29	4週間後	0.02mg/L	不検出	0.01mg/L	不検出	0.45mg/L	/	0.45mg/L	/
R4.9.26	8週間後	0.02mg/L	不検出	0.01mg/L	不検出	0.02mg/L	不検出	0.09mg/L	不検出

保存の仕方



消毒用の塩素効果がなくなると、細菌が繁殖しやすくなります。水道水を、清潔な蓋のできる容器に空気に触れないように口元いっぱいまで入れ、しっかり蓋をして、日光のあたらない冷暗所で保存しましょう。



いざというときに備えて

人が生命を維持するために必要な飲料水の量は、1人1日あたり3リットルといわれています。いざというときに備えて、3日分を目安に日ごろからご家族の人数分の飲料水を確保しておきましょう。

$$\begin{aligned} \text{3日分の備蓄量} &= 3 \text{ リットル} \times 3 \text{ 日分} \times \text{家族の人数} \\ \text{< 4 人家族の場合 >} & 3 \text{ リットル} \times 3 \text{ 日} \times 4 \text{ 人分} = 36 \text{ リットル} \end{aligned}$$



不測の事態に備えて、水道水をくみ置きしておく心安いね。

